

Q&A

腹腔鏡下手術って メリットはありますか

Q 医師から鼠径ヘルニアと診断され、腹腔鏡下手術が必要であると説明を受けました。腹腔鏡下手術のメリットは何ですか？



太田勝也 医師
ヘルニアセンター長

A 鼠径ヘルニアとは、下っ腹や足の付け根付近の鼠径部で起こるもので「脱腸」とも呼ばれています。手術が唯一の治療法になりますが、腹腔鏡下手術による患者さんのメリットは傷口が小さく、術後の痛みが少ないため日常生活

に早く復帰できることです。腹腔鏡下手術は、おなかの中から反対側のヘルニアの有無を確認できるため、両側にできた鼠径ヘルニアでも同じ傷口から一度に手術が可能です。術後のデータを見てみると再発率は0・5%で鼠径ヘルニアを治療するために優れた方法です。しかし、腹腔鏡下手術にも欠点があります。腹腔鏡下手術は、菜箸のように長い40cmある鉗子を使ってミリ単位の手術を行うため、高度な技術と経験を要します。患者さんには全身麻酔で完全に眠ってもらうため、全身麻酔中は人工呼吸をしないとなりません。麻酔を行い、手術までの準備と麻酔から醒めてもらうために30分程度の時間がかかります。近年、麻酔で使用する薬剤や手術は進歩しておりますが、麻酔特有の合併症やアレルギーなどの副作用が起きることも稀にあります。

腹腔鏡下手術は病気の治療を目的に開発された優れた方法です。気になる方、ご家族で気にいらっしゃる場合は、医療機関への受診をお勧めします。

取材協力 外科・日帰り手術センター

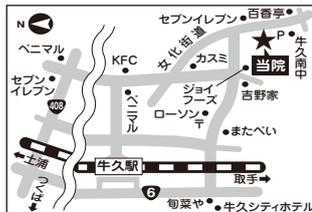
太田医院 そけいヘルニアセンター

<https://otaiin.com>

牛久市さくら台1丁目18-2 (P25台)

☎029-874-2281

休診日/日・祝日・第2木曜日
診療時間/9:00~12:00 15:00~18:00(木・土曜午前診)



JR常磐線牛久駅より車で9分